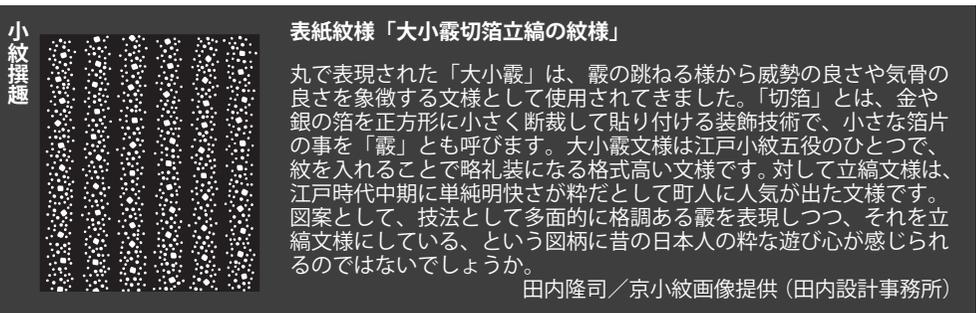


| | | | |
|---------|---|--------|----|
| 巻頭言 | 新自由主義のゆきづまりと協同組合 | 高山 一夫 | 1 |
| シンポジウム | | | 2 |
| 記念講演 | 地域再生と協同～協同組合に期待すること | 内山 節 | 3 |
| 解題 | 地域再生と協同 | 上掛 利博 | 18 |
| 報告 | | | |
| I | 地域経済と雇用の展望～アベノミクスと地方消滅論を克服する理論 | 岡田 知弘 | 21 |
| II | TPP 協定と対峙する地域づくりの課題 ～産直、地産地消からみえてくる地域の再生 | 小池 恒男 | 29 |
| III | 地域を支える人を育てる～事業と活動を通じた協同組合の可能性 | 加賀美 太記 | 33 |
| コメント | | 内山 節 | 43 |
| まとめ | 「深い学習」と協同による地域の再生へ | 上掛 利博 | 46 |
| 分科会 | | | 49 |
| 第1分科会 | 大規模化と事業連合化の時代に考える生協とガバナンス | 杉本 貴志 | 50 |
| 第2分科会 | 暮らしに気づく・暮らしを支える～生協にできること | 川口 啓子 | 60 |
| 第3分科会 | 原発被災と協同 | 上掛 利博 | 70 |
| 資料 | | | 89 |
| 投稿規程 | | | 92 |
| バックナンバー | | | 93 |

本増刊号は、2016年6月25～26日にコープイン京都で開催した、くらしと協同の研究所「第24回総会記念シンポジウム」の内容を再構成したものです。



小紋
挿趣

表紙紋様「大小霞切箔立縞の紋様」

丸で表現された「大小霞」は、霞の跳ねる様から威勢の良さや気骨の良さを象徴する文様として使用されてきました。「切箔」とは、金や銀の箔を正方形に小さく断裁して貼り付ける装飾技術で、小さな箔片の事を「霞」とも呼びます。大小霞文様は江戸小紋五役のひとつで、紋を入れることで略礼装になる格式高い文様です。対して立縞文様は、江戸時代中期に単純明快さが粋だとして町人に人気が出た文様です。図案として、技法として多面的に格調ある霞を表現しつつ、それを立縞文様にしている、という図柄に昔の日本人の粋な遊び心が感じられるのではないのでしょうか。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）